



私たち議員22名、市議会の出来事を わかりやすくお伝えします！

市民の皆様には、平素から市議会に対し、深いご理解とご協力を賜り心より感謝申し上げます。市議会は、市民を代表する議員で構成され、市の議決機関として、富津市の発展の方向性を決めるとともに、市民の皆様の声を市政に反映するという大きな役割を担っています。行政と十分な連携をとりながら「活力ある住みよい富津市」にするため努力しています。さて、ふつつ議会だよりは、定例会の会議報告として議会事務局で編集発行してきたところですが、この度、議員自ら編集に携わることとなり、議会の活動状況を広く市民の皆様にお知らせし、開かれた議会を推進することを目的に、6名からなる議会広報委員会を発足させ、新しい企画でのふつつ議会だよりを発行する運びとなりました。市民の皆様が知りたい情報、議会の知らせたい情報をわかりやすく提供することにより、議会活動の一層のご理解をいただきますようお願い申し上げます。ご挨拶

富津市議会
議長 小林 新一



平成17年6月定例会の「報告」 貼ったごみの排出の廃止などが決まりました。

6月定例会が6月3日から22日までの会期20日間で開催されました。議案14件が上程され、このうち10件を全体審議、4件を各常任委員会に付託し、審議の結果、いずれも原案のとおり可決・承認になりました。

【議案の審査結果】

- 国民健康保険税の按分率の見直しと介護納付金の課税限度額の引き上げ、保険給付費の増加と保険税の減少が続く中、保険事業の収支の均衡を図るため按分率・課税限度額の見直しが行われました。平均72%の保険税負担増になります。これは平成17年度分から適用されます。(詳しくは4面の民生水道常任委員会をご覧ください)
- ごみ収集手数料納付済証(ステッカー)でのごみ排出を廃止するための条例改正。ごみの分別促進・減量化・資源化を図るため、平成18年4月からごみの排出は指定収集袋のみで行うことになり、ごみ収集手数料納付済証(ステッカー)での排出はできなくなります。また、ステッカーの販売については、平成17年10月から中止となります。
- 市税条例の改正 2件 地方税法等の改正に伴い、65歳以上の非課税限度額の廃止などの条例の一部改正が行われました。
- 水道事業会計補正予算 企業債の借換債を行うための補正予算。
- 補正予算案
- 水道事業会計補正予算 企業債の借換債を行うための補正予算。
- その他の議案
- 合併に関する関係団体の規約の整理 2件 旭市、海上町、飯岡町、干潟町が合併し旭市になることに伴う規約の整理について認めました。
- 人事案件 (左表参照)

* 教育委員会委員の職名は、本年7月2日現在。

* 5人権擁護委員
住民の基本的な権利が侵害されることのないように監視し、侵害された時には救済のための適切な処置をとり、自由人権思想の普及高揚に努めます。

* 3委員会付託
議案などを少人数で、専門的・効率的に審査するために設置された委員会に議案を審査します。

* 4教育委員会委員
教育行政の基本方針や重要施策について審議し、意志を決定する合議制の機関です。市長が市議会の同意を得て任命します。

* 2全体審議
議員全員で議案などを審議します。人事案件等、委員会付託が必要ない場合、全体審議になります。

* 1定例会
市議会には、年4回(3、6、9、12月)定期的に開く定例会と、必要に応じて開く臨時会があり、いずれも市長が招集します。

* 用語解説

富津市教育委員会委員(任期4年) *4			
氏名	職名	任期	
笹生 芳郎	委員	H.16.7.1~H.20.6.30	
高木 大和	委員	H.14.7.2~H.18.7.1	
再任 坂井 東子	委員長	H.17.7.2~H.21.7.1	
稲葉 一郎	委員長職務代理	H.16.4.1~H.20.3.31	
黒川 逸	教育長	H.16.7.2~H.20.7.1	
富津市人権擁護委員(任期3年) *5			
氏名	住所	任期	
再任 深津 幸三	佐賀	H.17.10.1~H.20.9.30	
再任 鈴木 啓吾	下飯野	H.17.10.1~H.20.9.30	
再任 平野 和子	千種新田	H.17.10.1~H.20.9.30	
新任 齋藤 恵津子	萩生	H.17.10.1~H.20.9.30	
新任 関谷 千恵子	豊岡	H.17.10.1~H.20.9.30	
新任 酒井 ハナ子	富津	H.17.10.1~H.20.9.30	
北川 正衛	大堀	H.15.10.1~H.18.9.30	
伊藤 敏行	上	H.15.10.1~H.18.9.30	
渡邊 知子	海良	H.15.4.1~H.18.3.31	

* 再任・新任者について、今回の定例会で審議しました。

一般質問 代表質問

※富津市議会には、現在2つの会派(新世紀の会、賛政会)があります。この会派の代表として行う質問が、代表質問になります。代表質問の時間内(質疑・応答で120分)であれば、同じ会派の人が関連質問をすることが出来ます。

君津中央病院の経営改革、環境行政、第二次基本計画策定の考え方について

新世紀の会



中後 淳 議員

君津中央病院の問題

入札に関わる贈賄事件という不祥事を起こした君津中央病院ですが、経営状況も非常に厳しく抜本的な改革が必要です。改革についての市長の見解と、贈賄事件の経過、今後の対応について質問しました。

市長 経営改革の必要性は、非常に厳しい経営状況であり、経営改革は必要。組合議事を通じて経営改善を促していく。

市長 贈賄事件の経過と今後の対応は、市長 事件については現在捜査中。今後については四市市長会議、四市担当部長会議で対応について協議している。

市長 環境問題への取り組み地球温暖化等、環境問題は地球規模の問題であり、市として真剣に環境行政に取り組む必要があるという観点から、将来を見据えた環境教育と、市役所の具体的な取り組みについて取り上げました。

市長 環境教育の位置づけと取り組み状況は、教育長 小中学校において各教科、特別活動、総合的な学習で位置づけられ、体験的活動と学習を

通して取り組んでいる。教育長 環境教育が連携して環境教育に取り組む考えは、部長 今後定める環境基本計画の中で環境教育について取り上げていきたい。

市長 市役所の取り組みは、市長 昼休みの消灯、冷暖房温度の制限、節水、ペーパーレス化、公用車の軽自動車化、ノーネクタイ期間の設定など環境に配慮した取り組みを行っている。

市長 今後の方針は、市長 環境基本計画を定め市民と協働で環境問題に取り組んでいく。

市長 第二次基本計画の策定平成18年度からスタートする第二次5カ年基本計画(平成18~22年度)が策定作業に入りました。市の長期計画が実効性の高いものになるよう、15カ年基本構想平成13年度、27年度との整合性も含め質問しました。

市長 第一次基本計画(平成13~17年度)の総括は、市長 事業費ベースで92%の達成見込み。未着手事業として、福祉保健センター、図書館、都市基盤整備事業の中止や遅れがある。人口は5万5千人の見込みに対し、5月現在5万340人で目標達成は困難である。

市長 10年後に人口6万5千人を想定している15カ年基本構想との整合性は、部長 基本構想に合わせるのではなく次期5カ年計画では現実的に考える。部長 整合性の問題は、部長 実害がない限り様子を見て判断したい。

市長 平成18年度以降の課題認識は、市長 15カ年基本構想を踏まえ、柔軟に対応する。市長 施策立案の考え方は、市長 有効かつ適切な施策を立案する。

市長 管理行政から経営行政へという考え方は、部長 今後の課題として考えていきたい。

市長 これからの自治体はどうあるべきと考えるか、部長 市民との協働、諸問題の整備、迅速化等を含め検討し進んでいきたい。

市長 君津中央病院の問題、市長 厳しい経営の原因は、市長 組合事務局、四市の市長、担当部長等で対応するのでご理解頂きたい。

市長 第二次基本計画の策定、市長 人口減少対策は、部長 複合的な要因であり、地道な施策以外に対策は無いと考える。

市長 財政非常事態宣言に区切りをつけるべきと考えるが執行部の考えは、部長 生活環境整備、市民福祉向上の財源確保のために非常事態宣言をしている。今後の収支の動向を見て政策的に判断されるものと考えている。

市長 10年後に人口6万5千人を想定している15カ年基本構想との整合性は、部長 基本構想に合わせるのではなく次期5カ年計画では現実的に考える。部長 整合性の問題は、部長 実害がない限り様子を見て判断したい。

市長 平成18年度以降の課題認識は、市長 15カ年基本構想を踏まえ、柔軟に対応する。市長 施策立案の考え方は、市長 有効かつ適切な施策を立案する。

富津市役所

富津市は、市制施行30周年の平成13年(2001)をスタートの年として、平成27年(2015)までの都市像をつくりました。そのイメージは「躍動とにぎわい 安らぎとふれあいの交差するまち ふっつ」で、5年ごとに基本計画をつくり、まちづくりに取り組んでいます。今年はこの第1次のプランが終る年であり、来年4月より第2次の計画がスタートします。



この会社は平成10年12月に、自治体4市(木更津・君津・富津・袖ヶ浦)と民間3者(新日鐵・エムコ・市川環境エンジニアリング)によって創られた第三セクターです。平成14年より稼働し、現在は第2期工事中で、平成18年3月の完成を目指している。富津市の一般廃棄物はここで処理されています。

(株)かずさクリーンシステム 木更津市新港

第二次基本計画と基本構想について

賛政会



福原 敏夫 議員

富津市基本計画は財政非常事態宣言の中に策定され、はや4年数カ月が経過しました。現在の収支見通しは更に大きな財源不足が生じる状況であり、財政見通しの裏付けがない基本構想の中、人口増加対策や、区画整理を始め、道路・下水道など都市基盤整備など、余りにも乖離している。残り10年数カ月ある基本構想の修正を行うべきであるが、市長の考えを伺いたい。

市長 基本構想は市の将来目標、目標達成の基本的な施策で、長期的な展望に基づく経営方針です。社会情勢の変動には弾力的に対応する。現行の基本計画については、計画達成が難しいものもあるが、構想全体が現実と著しく乖離し、市の基本にふさわしくない場合に改定を検討する。

市長 市長の公約・考えをどのように計画に盛り込んでいくのか、部長 市民が期待するものと市長の公約をできるだけ結びつけるように現在検討している。

市長 かずさクリーンシステム委託料の考えについて、同 委託料は基本協定書

及び廃棄物中間処理委託基本契約書に基づき運営連絡協議会等で協議を行い決定している。委託料は固定費と変動費により積算され、その合計額が当該年度の最終的な委託料となるが、決算で利益が出た時は、委託料の減額か出資金に対して配当することが出来るか。

市長 利益の還元については、同社は四市の一般廃棄物の共同処理を目的に第三セクターとして設立された。設立経費、環境アセス、用地取得に係る租税等の繰り延べ資産がある間は、法的に配当等による利益の還元はできない事となっている。

市長 基本構想は市の将来目標、目標達成の基本的な施策で、長期的な展望に基づく経営方針です。社会情勢の変動には弾力的に対応する。現行の基本計画については、計画達成が難しいものもあるが、構想全体が現実と著しく乖離し、市の基本にふさわしくない場合に改定を検討する。

市長 市長の公約・考えをどのように計画に盛り込んでいくのか、部長 市民が期待するものと市長の公約をできるだけ結びつけるように現在検討している。

市長 かずさクリーンシステム委託料の考えについて、同 委託料は基本協定書

地域医療について



長谷川 剛 議員

市長 医療費削減には保健事業と医療の連携が必要と考えます。また街づくりの根幹として地域包括医療が大切だと考えるが、市長 保険と医療が一体となつてこそ成果は最大限に発揮される。地域医療・地域保健・地域福祉の一体的な包括サービスは健康と福祉のまちづくりに非常に重要なもの。医師会と君津中央病院・分院との整合性を図りながら調査研究していく。

市長 将来的に大佐和分院を富津市立病院として整備し地域包括医療の中心として位置づけ、保健センター、福祉センターとも連結させた複合型施設としてはどうか、市長 理想的だと思うが、現在は君津中央病院の大佐和分院という位置づけ、市内の開業医との連携、採算性を考えると厳しい状況かと考える。

同 分院の経営状況は悪くなく、市立病院も困難ではないと考えるが、部長 十分に理解は出来るが君津中央病院組合が決定すべきものと考えている。同 救急医療体制や災害時の拠点としても位置づけられるのでは、消防長 理想かと思うが現実的には大変厳しい。同 君津中央病院の経営改善と捜査中の事件に対して市長・病院組合の関係者の方々に信頼回復にご尽力いただきたい。市長 ご指摘頂いたようにかなり改善するところがある。組合議会で話をしていきたいと思う。

市長 将来的に大佐和分院を富津市立病院として整備し地域包括医療の中心として位置づけ、保健センター、福祉センターとも連結させた複合型施設としてはどうか、市長 理想的だと思うが、現在は君津中央病院の大佐和分院という位置づけ、市内の開業医との連携、採算性を考えると厳しい状況かと考える。

同 分院の経営状況は悪くなく、市立病院も困難ではないと考えるが、部長 十分に理解は出来るが君津中央病院組合が決定すべきものと考えている。同 救急医療体制や災害時の拠点としても位置づけられるのでは、消防長 理想かと思うが現実的には大変厳しい。同 君津中央病院の経営改善と捜査中の事件に対して市長・病院組合の関係者の方々に信頼回復にご尽力いただきたい。市長 ご指摘頂いたようにかなり改善するところがある。組合議会で話をしていきたいと思う。

一般質問 個人質問

*個人質問の時間は、質疑・答弁を含め1時間以内です。紙面の都合で僅かしか掲載できませんので、ぜひ議会傍聴にお越し下さい。

時間の都合のつかない方は、市役所1階の「行政資料コーナー」に会議録が置かれてありますので、詳細をご覧下さい。

環境行政、人口増加策、広域幹線道路の整備

永井 庄一郎 議員



問 ゴミのポイ捨てや産業廃棄物の不法投棄の現状と対策は。

市長 「富津市まちをきれいにする条例」を制定し地域の環境美化に努めている。産業の不法投棄は市内に20カ所ある。今後は県と連携し対応していく。人口を減少させないための歯止め策と増加策について。また、企業誘致対策からの人口増加は、市長 次世代育成支援や企業誘致策に努めているが増加に結びつかない現状である。住みよい魅力あるまちづくりに努める。第二次基本計画にも人口増加につながるような施策を盛り込んでいきたい。問 市の南北を結ぶ縦軸幹線2号線を北と南の両面から整備を進めるべきだと考えるが、また林道竹岡線の残り部分の工事の再開を願いたい。

君津中央病院の贈収賄事件について

岩崎 二郎 議員



君津中央病院は木更津市、君津市、富津市、袖ヶ浦市の四市で共同経営、運営されています。なぜ今回の事件が起きたのか、その原因を明らかにすべきではないのか。

問 中央病院関係の市長としての見解と対応をどう考えているのか。市長 大変遺憾に思っている。今後の対応は、四市市長会議並びに四市担当部長会議で協議しているところである。問 中央病院の執行機関の構成はどうなっているのか。部長 管理者(君津市長、副管理者(木更津市長)、病院長、副院長(地域医療センター長)、大佐和分院長、医務局長、事務局長、薬局長、看護局長で構成されています。問 中央病院の議会の議員の構成はどうなっているのか。部長 四市から各々3名。内訳は、市長(富津市、袖ヶ浦市)、助役(木更津市、君津市)、議員各々2名、計12名で構成。問 市長の現在の改善策があったら。市長 首長の一人として、また病院議会の議員として発言していく。

インター開通の影響、今後の学校教育は?

石井 志郎 議員



問 富津中央インター開通後の影響調査と今後の行政展開は。

市長 観光など明確な集客手段を持たない地域は取り残されてしまうおそれがあり、観光に結びつける集客施設の設定が必要と考えている。部長 前年対比で淡交差の交通量は四千六百台減っており、一部経済活動に影響が出ている。問 少子化が進む中で、小・中学校のあり方と教育方針、通学路の安全は。教育長 現在小学校で7校、中学校で2校が学年単学級になっている。地域と歩む学校づくり、学区内の小中学校の連携を図り、子供たちの育成を考えている。部長 平成23年の小学校入学人数は富津地区171人、大佐和地区67人、天羽地区60人になる見込み。教育長 確かな学力と郷土愛を育む地域に根ざした教育を展開したい。部長 通学路の安全について市道であれば出来ることから対応したい。問 近隣市に計画されている大型商業施設とその影響について。部長 競合もあるが、相乗効果を期待したい。

*一般質問の答弁者は、紙面の都合で省略しておりますので、ご承知下さい。総務・総合政策・財政・市民福祉・経済環境・建設・教育の各部長は、全て「部長」として表記しております。



意外と知らない

君津中央病院のしくみ

君津中央病院は君津郡4市(富津市、木更津市、君津市、袖ヶ浦市)を構成団体とする組合病院です。病院経営の最高責任者は病院組合管理者で、管理者と副管理者は4市の市長の中から選ばれます。管理者とは別に執行責任者としての病院長がいて、その下に医務局・薬局・事務局等と大佐和分院、看護学校という組織になります。

病院経営の議決機関は病院組合議会、組合議会議員は4市から3名ずつの12名により構成されます。議員は市長と市議会議員から選ばれた2名で構成され、市長が管理者・副管理者に選出された市は、市長に代わり助役が議員になります。

病院組合の構成市である4市の負担金は毎年20億円前後であり、平成17年度予算の負担金は4市合計17億円(内富津市・約3億6千万円)ですが、新病棟開設後の平成15年以降赤字が続いており、病院経営は大変厳しい状況にあります。(病院は医療収益、4市負担金、国県補助金、その他の収入で運営されています)現在、常勤の管理者を置くこと、学識経験者を組合議会議員に含めること、事務局職員に4市の職員を派遣すること、情報公開の諸規定を定めることなど、抜本的な経営改革について検討が進められています。



君津郡市中央病院組合 組織図

グレーの文字は、民間企業の組織に例えた場合の表現です。



民生・水道

常任委員会

議案2件、
継続審査となっていた
陳情1件を審査しました。

議案第3号

富津市国民健康保険条例の一部を改正する
条例の制定について 原案可決

【審査内容】景気の低迷による悪化する国保財政の維持を図るため、国民健康保険税に係る按分率の見直し、介護納付金に係る課税限度額を引き上げて国保財政の健全化を図るための改正です。

(基礎分) 所得割額 6.4% → 7.4%
資産割額 26.4% → 26.0%
(介護分) 所得割額 0.9% → 1.4%
資産割額 5.0% → 4.0%
賦課限度額 7万円 → 8万円

*平成12年度の引下げ(均等割額、平等割額)以来、医療費の増嵩の続く中、国の交付金、財政調整交付金を利用し運営してきました。景気低迷による保険税の減少等により、保険給付に対し保険税が不足する状態が続いています。平成16年度には、財政調整基金(貯金)を約2億5千万円繰入れしました。この状態が続くと平成20年度には、約10億円の不足が見込まれます。それを回避するための、按分率の見直しによる改正です。

議案第5号

平成17年度富津市水道事業会計補正予算(第1号)について 原案可決

【審査内容】公営企業金融公庫の高金利から低金利への借換えによるものです。

継続審査・陳情第10号

介護保険制度における見直しを求める陳情について/(社)千葉県鍼灸マッサージ師会

不採択

【審査内容】マッサージ師の介護予防事業への参画、国へ意見書提出を求めるものですが、マッサージと介護制度との関連に調査が必要と判断し継続審査となっていました。改めて陳情者の願意等参考意見を聴取した後、医療の実態及び介護保険制度の内容から、時期尚早であると判断いたしました。

総務・教育

常任委員会

委員会付託 議案1件 陳情3件

議案第2号

富津市税条例の一部を改正する条例の制定について

【審査内容】この議案は地方税法及び関係省令が改正されたことに伴い、個人住民税の65歳以上の者に適用される非課税限度額の廃止、及び特定口座で管理されていた株式の無価値化による譲渡損の特例等の改正を行う必要が生じたための条例の一部を改正するものです。

(例) 65歳以上で前年度所得金額125万以下の方は平成18年度3分の2が控除対象。19年度は3分の1が対象。20年度は全額に課税される。賛成多数で可決されました。

陳情第11号

陳情者/義務教育費国庫負担制度を守る千葉県連絡会

【審査内容】義務教育費国庫負担制度が廃止された場合、教育の機会均等とその水準の維持向上が阻害されるおそれがあるので国庫負担金制度を堅持する陳情で、全員の賛成で採択されました。

常任委員会の結果

富津市の場合は3つの常任委員会から成り立っていますが、この分け方は各自治体によって様々です。

建設・経済

常任委員会

議案1件の

審査を行うため、
6月14日に委員会を開催、
原案のとおり可決しました。

主な議案審査は次のとおりです。

「富津市廃棄物の減量化、資源化及び適正処理等に関する条例の一部を改正する条例の制定」について

この議案は、ごみ収集手数料納付済証(ステッカー)での排出を廃止することにより、ごみの分別を促進し、更なるごみの減量化、資源化を図るために条例の一部を改正しようとするものです。

質疑の内容は、

質) ステッカーの販売期間及び使用期限は?

答) 9月末まで販売し、使用期限は18年3月31日まで。

質) 使いきれなかったステッカーは?

答) 市の直接対応により袋と交換するなどの対応をしていく等の質疑がなされた結果、全員の賛成をもって可決しました。

特別委員会

合併等調査特別委員会を6月10日に開催しました。議事は、1. 県内等の合併の動向について 2. 市町村の合併の特例等に関する法律について 3. 消防行政の広域化について、です。主なものとしては、消防行政の広域化について活発な議論が行われました。消防行政を広

域(近隣4市や近隣市)で行った場合のメリット・デメリットについて説明・質疑等やその他の広域行政の可能性についての議論がされました。合併等調査委員会として今後も調査・研究を重ねたうえで今後の方向性について協議していきます。

6月定例会における陳情・意見書の審議結果は以下のとおりです。

◆ 陳 情 件 名	採決結果
介護保険制度における見直しを求める陳情	不採択
「義務教育費国庫負担制度の堅持に関する意見書」採択を求める陳情書	採択
「国における平成18年度教育予算拡充に関する意見書」採択に関する陳情書	採択
「君津地方における教職員の調整手当格差是正に関する意見書」採択に関する陳情書	採択
◆ 意 見 書	採決結果
義務教育費国庫負担制度の堅持に関する意見書	原案可決
国における平成18年度教育予算拡充に関する意見書	原案可決
君津地方における教職員の調整手当格差是正に関する意見書	原案可決
地方六団体改革案の早期実現に関する意見書	原案可決
地方議会制度の充実強化に関する意見書	原案可決

市民の皆様、日頃は富津市議会に対し、ご支援を下さりまして、ありがとうございます。私ども市議会も、定例会の会議報告「ふつつ議会だより」を議会事務局で編集し各家庭に配布してまいりました。

この度、議会内で「議会だより」は議員自らの手で編集しようと言うことになり、広報委員会を設置いたしました。委員は議会運営委員会から3名、各常任委員会より各1名の、以下の体制です。

委員長 福原 敏夫
副委員長 中後 淳
委員 平野 明彦
委員 藤川 正美
委員 長谷川 剛
委員 大野 裕二



今年度より、富津市議会だよりは、議会事務局職員から、議員6名からなる議会広報委員会編集に変わりました。

読みやすくて内容のある議会だよりを目指して、試行錯誤を重ね手作りで編集を行っています。まだまだ不完全だと思ひますので、皆さんのご意見・ご感想もお聞かせ頂きたいことを伝えられる議会だよりになりたいと思ひます。

一人でも多くの方に目を通して頂けるよう頑張りますので、今後とも宜しくお願い致します！

富津市議会広報委員会

ご挨拶



広報委員長 福原 敏夫

市議会を
傍聴しませんか！

9月定例会開催予定

1日(木)開会

議案の上程

提案理由の説明

6日(火)一般質問

会派代表質問

7日(水)一般質問

個人質問

9日金議案質疑

委員会付託

決算審査特別委員会設置

13日(火)常任委員会

14日(水)常任委員会

15日(木)常任委員会

21日水開会

委員長報告

議案等審議

※日程は変更になる場合があります。詳しくは議会事務局(80・1331)にお問合わせ下さい。